



福井県立大学
Fukui Prefectural University

No.126

2025 秋号



FPU NEWSについて
ご意見・ご要望をお寄せください。
抽選で県大グッズプレゼント!

FPU NEWS

Fukui Prefectural University

特別企画 2026年春、 地域政策学部開設!



7~8月に開催した地域政策学部の説明会には多くの高校生が参加し、模擬授業などを通じて学部の魅力を体感していただきました。

本学関係者の著書紹介

ラクに長生きしたい人のためのよくばり健康法 ~驚愕の万能物質「タウリン」で健康長寿をめざす~

看護福祉学部 村上 茂 特命教授 分担執筆
(新潮社(新潮新書)、2025)

14人の医師や専門家が長生きしたい人のための健康法を紹介した新書。超高齢化時代において、人生の最期まで元気で暮らせる健康寿命はとりわけ重要で、本書では健康法の1つとして、タウリンの体内での役割や健康維持のための活用法などが紹介されている。



日本における既婚女性のパートタイム労働 -変わる働き方、変わらない女性の役割-

看護福祉学部 田中 裕美子 教授 著
(晃洋書房、2025)

さまざまな働き方が存在する中で、男女の性別役割分業に関する意識は変化しつつあるが、女性が「家事・育児」の中心的な役割を担う状況に大きな変化は見られない。本書では、男女の働き方とジェンダーについて、パートタイム労働の歴史、政策、現状を制度的・量的分析から明らかにする。



Excel/Googleスプレッドシートで学ぶ データサイエンスの基礎

情報センター 徳野 淳子 教授、田中 武之 准教授、
谷川 衝 准教授 共著 (近代科学社Digital、2025)

初学者にも扱いやすいExcelやGoogleスプレッドシートを用いたデータサイエンスの教科書。オープンデータの使い方、可視化や集計、基本統計量、代表的な確率分布を学びながら、段階的にデータリテラシーを身に付けられる構成になっている。



新任教員紹介



看護福祉学部 看護学科
教授 二本柳 玲子 にほんやなぎ れいこ
(専門分野) 慢性病看護学
北海道札幌市出身です。災害を経験した透析患者の視点から備えを探る研究に取り組んでいます。

白樺祭のご案内

福井県立大学大学祭「白樺祭」を下記のとおり開催します。
皆様のご来場をお待ちしております!

日時 小浜キャンパス 令和7年 10月4日(土)、5日(日)
永平寺キャンパス 令和7年 10月18日(土)、19日(日)

内容 ステージ企画、アーティストLIVE、学科企画 ほか

詳細はこちら

海友会X (小浜キャンパス) [QR code]

学生会 X (永平寺キャンパス) [QR code]

福井県立大学公式SNS ぜひフォローしてください!

[X icon] [QR code]

[Instagram icon] [QR code]

[Facebook icon] [QR code]

同窓会会長より

福井県立大学同窓会の会長を務めさせていただいております、2001年卒業の舟木でございます。本同窓会は、1996年に1期生の卒業と同時に設立され、約30年の歴史を積み重ねてくることができました。これもひとえに会員の皆様方と、大学の先生や職員をはじめとする関係者の皆様方のご理解とご尽力の賜物であり、心より感謝申し上げますとともに、引き続きご支援くださいますようお願いいたします。



千田 祐司さん
株式会社SKIYAKIソリューション事業部
(経済学部 経済学科 平成8年度卒業)

大学卒業後はベンチャー企業に就職。その後レコードメーカーに転職し、約20年間にわたり音楽アーティストのマネージャーを務めました。その経験を活かし現在はファンコミュニティの企画営業として音楽アーティストやタレント、俳優、スポーツ選手など、さまざまな表現者とファンがつながる「場」づくりに取り組んでいます。
県大には1期生として入学し、「新しい文化を自分たちで創る」という貴重な経験をしました。そこで得た姿勢や考え方は今の仕事の土台になっています。
現在、県大同窓会・関東支部の立ち上げにも関わっています。関東近郊にお住まいの卒業生の皆さん、ぜひつながりましょう!

同窓会からのお知らせ

同窓会には、「甲子会」「短期大学分会」「つぐみ会」があります。同窓生の皆さんから寄せられた近況をご紹介します!

Tsugumi 同窓生の近況



横川 淳史さん
ヨコガワ会計事務所 代表
(経済学部 経営学科 平成29年度卒業)

私は勝山市で税理士をしております。令和5年に地元で会計事務所を開業しました。企業の会計サポートや確定申告・相続の相談、小学校・中学校・高校への租税教室など様々な活動をさせて頂いております。
在学中に税理士という職業に興味を持ちました。税理士になるには税理士試験を突破しなければなりません。大学3年時にはじめて受験してから、7回目の試験で合格することができました。社会人になり仕事と勉強の両立は大変でしたが、それを乗り越え、やりがいのある職業生活が過ごせていると実感しています。
また、税理士業界は人手不足です。20~30代税理士は福井では数えるほどしかいません。これからの日本を担う若い世代に税理士について興味を持って頂ければ光栄と思います。



\\ まち全体が学びのキャンパス //

NEW! 地域政策学部

地域イノベーション学科



地域政策学部
情報はこちら

福井駅から
徒歩1分!

福井まちなかキャンパス
(AOSSA内 1・3・5F)
2027年4月 供用開始
1年次は 永平寺キャンパス
2年次以降は 福井まちなかキャンパス

2026年4月START!
定員70名

カリキュラム〈教育課程〉の特色

地域イノベーションを体系的に学ぶカリキュラム

- 01 地域におけるフィールド演習など実践教育を重視**
県内各地域をはじめ、国内外で実際の地域課題をテーマとしたフィールドワークを重視
- 02 データサイエンスを足場にデジタル人材を養成**
GIS(地理情報システム)や空間分析など、ビッグデータや情報システム技術を活用した演習を実施
- 03 就労体験実習(コーポ実習)の実施により学生と県内企業とのつながりを強化**
県内企業や自治体と連携し、企業等の業務に一定期間参加。現実の課題解決に取り組むことで単位を認定
- 04 国内留学制度で福井だけでなく他の地域についても長期的な学びが可能**
単位互換の協定を締結した首都圏などの大学において、一定期間滞在し学修することで単位を認定
- 05 福井駅から徒歩1分の福井まちなかキャンパス(AOSSA内)が拠点**
2年次から、フィールドワークが多い本学科の学びの拠点「福井まちなかキャンパス」で学習

Q 「地域イノベーション」とは?

A 地域の資源を活用し、新しいアイデアや取り組みで新しい価値を創造し、地域社会に大きな変化・革新をもたらすことをいいます。

Q 地域政策学部では、どのようなことを学びますか?

A 地域の課題を自ら発見し、地域の課題解決に繋がる専門知識とデータ分析を組み合わせ、地域におけるイノベーションの実現に向けたコーディネート力を磨きます。

2年次からは3つのユニット(分野)に分かれて学びを深めます

地域産業



地域における産業の実態を学び、地域の特性を活かした産業の振興・発展に必要な理論と政策

地域創造



地域の資源(歴史、文化、自然)の価値を理解し、活用した新しいビジネスの創出に必要な理論と政策

地域づくり



地域社会の現状と課題を理解し、公共政策・まちづくりを企画・立案するために必要な理論と政策

想定される進路

■ 製造・流通・金融・情報通信関連の
総務・企画・営業部門

■ 地方自治体、コンサルタント、NPO法人
起業、事業承継



新学部PRイベントに

多くの高校生が参加!

地域や社会とつながる地域政策学部の学びの魅力を知らうため、高校生を対象とした2つのイベントを開催しました。



地域政策学部の授業を高校生が体験!

7月21日(月・祝)、福井市の福井県協ビルにて高校生向けのイベント、「地域政策学部で地域イノベーションを学ぶとは」を開催しました。来年度開設する地域政策学部地域イノベーション学科の予定教員が、それぞれの研究テーマをもとに、地域政策学部での「学び」について説明しました。100名を超える高校生やその保護者らの参加があり、アンケートでは、「授業体験が出来て良かった」、「学部の魅力が知れて、早く入りたいと思った」という声がありました。



県内高校生が地域に関する探究学習の成果を発表!



8月8日(金)、福井駅前のAOSSAにて高校生向けのイベント、「『探究学習』から地域政策学部の学びに」を開催しました。イベントは2部構成で、第1部では県内高校生が取り組んだ地域に関する「探究学習」の成果報告会があり、地域政策学部の教員予定者から専門的な視点でコメントを行いました。第2部では、地域政策学部の学科長予定者である地域経済研究所の三橋浩志教授より、「探究学習で使えるプレゼン資料作成講座」が行われ、探究学習での資料作成に活用できるアドバイスをしました。

今後もこのようなイベント等の機会を通じて、受験生の皆さんに地域政策学部の魅力を発信していきます!



地域政策学部 予定教員の紹介

教授
石丸 香苗 いしまる かなえ



[専門分野]
森林科学
ブラジル研究

[主な担当科目]
地域環境論
海外地域研究A

教授
前田 陽次郎 まえだ ようじろう



[専門分野]
経済地理学
農業経済学

[主な担当科目]
農山漁村活性化論
農産物貿易論

教授
杉山 友城すぎやまととき



[専門分野]
地域活性化論、地域産業論
中小企業経営論

[主な担当科目]
地域マネジメント論
オープンイノベーション論

准教授
森嶋 俊行 もりしまとしゆき



[専門分野]
経済地理学
観光地理学

[主な担当科目]
観光産業論
地域交通論

准教授
高野 翔 たかの しょう



[専門分野]
ウェルビーイング
まちづくり

[主な担当科目]
ウェルビーイング論
まちづくり論

学部長
教授
松原 宏 まつばら ひろし



[専門分野]
経済地理学

[主な担当科目]
経済地理学、産業立地論
地域イノベーション論

教授
北島 啓嗣 きたじま ひろつぐ



[専門分野]
流通業の経営戦略
戦略論、マーケティング

[主な担当科目]
地域マーケティング論
経営戦略論

准教授
勝又 悠太郎 かつまた ゆうたろう



[専門分野]
経済地理学
地域産業論、インド研究

[主な担当科目]
地域産業論、産業集積論
地域データ分析III

教授
宮町 良広 みやまち よしひろ



[専門分野]
経済地理学
地域発展論

[主な担当科目]
地域発展論

教授
青木 和人 あおき かずと



[専門分野]
地理情報システム(GIS)
空間情報学

[主な担当科目]
地域データ分析I・II・III

准教授
富麻 雅章 とうまさあき



[専門分野]
空間経済学
応用計量経済学

[主な担当科目]
経済統計入門、空間経済学、
空間計量経済学、地域データ分析IV

学科長
教授
三橋 浩志 みつはし ひろし



[専門分野]
地域イノベーション政策
地域政策学

[主な担当科目]
地域づくり論
地域イノベーション政策

教授
鈴木 洋太郎 すずき ようたろう



[専門分野]
産業立地論
グローバル企業論

[主な担当科目]
経済学の基礎A(ミクロ)、
B(マクロ)、グローバル
企業論、マクロ空間構造論

教授
朝倉 由希 あさくら ゆき



[専門分野]
文化政策
アーツマネジメント論

[主な担当科目]
アーツマネジメント論
クリエイティブシティ論

准教授
加藤 裕美 かとう ゆみ



[専門分野]
文化人類学
東南アジア地域研究

[主な担当科目]
文化人類学
海外地域研究B

教授
漆間 アンドレア うるしま あんどれあ



[専門分野]
都市地域環境学
環境デザイン論

[主な担当科目]
実践英語I・II・III・IV
環境デザイン論

准教授
宮崎 友里 みやざき ゆり



[専門分野]
観光政策
自治体政策論

[主な担当科目]
自治体政策論
地域社会論

株式会社モンベルとの連携と協力に関する
包括協定締結式を開催しました

4月8日(火)、本学と株式会社モンベルとの間で、連携と協力に関する包括協定を締結しました。本協定は、人的・知的資源の交流や物的資源の活用を通じて、環境問題や自然災害など社会課題への対応、人材育成、そして地域活性化に寄与することを目的としています。本学では、「恐竜学部」における恐竜を含む古生物学や地質学に関する産学連携、フィールドワーク、県内各キャンパスを活用した取組みなどを進めていく予定です。



あわらキャンパス食農交流棟を開設しました



5月22日(木)、あわらキャンパスで食農交流棟の開設記念式典を開催しました。6次産業化を推進する人材育成のため、アクティブラーニングスペースやゼミ室、食品加工のためのスペースを設けております。今後は、同キャンパスで学ぶ生物資源学部創造農学科の学生や大学院生物資源学研究科の院生らの研究に使用される予定です。

恐竜学部 勝山高等学校と教育研究交流協定を
締結しました

6月9日(月)、本学恐竜学部と勝山高等学校は教育研究交流協定を締結しました。本協定を通して、恐竜を活用した地域活性化や人材育成を目指して共同研究をはじめ、学生と生徒、教員らの交流を行います。具体的には、恐竜・地質学関連分野での教材を高校と共同で開発したり、勝山キャンパスに設置する最新の研究機器に高校生が触れる機会を提供していく予定です。



大学広報支援員「FPU Actor」が誕生しました



7月10日(木)、大学広報支援員「FPU Actor」の委嘱式を開催しました。岩崎学長から委嘱状が交付され、広報支援員としての活動がスタートしました。学生視点によるリアルかつ共感性の高い情報発信で、本学のブランド力と認知度の向上を図ります。今後は大学広報媒体への参画や学内行事等における広報支援、大学公式SNSへの投稿を行っていく予定です。

県内高校3年生が経済学部講義を体験



「まちのスターに会いに行こう!〜話してつなぐ、魅せて届ける〜」は、地元のスターをPRする番組配信のYouTuberになりきって台本を作成する講義です。まずはVTuberプロダクション事業を手掛ける嘉門大助社長に、番組のねらいや台本の作り方、インタビューの進め方についてお話を伺いました。講義の途中には、なんと4面スクリーンに紫式部さんが登場するサプライズも!その後、地元で活躍する本学OBOGの先輩7人に取材し、仕事のやりがいや苦労した点などを聞き取りました。最後は、取材内容をもとにグループごとに台本を作成し、発表を行いました。

「まちのスターに会いに行こう!〜話してつなぐ、魅せて届ける〜」は、地元のスターをPRする番組配信のYouTuberになりきって台本を作成する講義です。まずはVTuberプロダクション事業を手掛ける嘉門大助社長に、番組のねらいや台本の作り方、インタビューの進め方についてお話を伺いました。講義の途中には、なんと4面スクリーンに紫式部さんが登場するサプライズも!その後、地元で活躍する本学OBOGの先輩7人に取材し、仕事のやりがいや苦労した点などを聞き取りました。最後は、取材内容をもとにグループごとに台本を作成し、発表を行いました。

オープンキャンパス2025を開催しました



8月3日(日)、高校生や保護者の方を対象としたオープンキャンパスを開催し、県内外からおおよそ2,500の方が参加しました。永平寺、小浜、かつみ、あわらの各キャンパスでは、各学部学科が模擬授業や研究体験などさまざまなプログラムを用意し、教員や在学生が県大の魅力を伝えました。地域政策学部の説明やワークショップも行われました。学生ガイドによるキャンパスツアーや座談会も行われ、参加した皆さんは先輩との交流を楽しんでいる様子でした。

福井を知る!見る!感じる!再発見!
恐竜博物館で多文化の視点を体感



「福井を知る!見る!感じる!再発見!」をテーマに、本学に在籍する留学生と日本人学生あわせて10名が福井県立恐竜博物館を訪れました。恐竜学部の今井准教授による展示解説を受けたあと、国際センターの古藪准教授の指導の下、国籍の異なる学生で構成されたチームで館内をめぐり、展示物の魅力を引き出すキャッチフレーズの提案を行うなど、同じ展示を見ても出身国や文化に応じて受け止め方が異なることを実感し、異文化理解を深めるワークショップを実施しました。

『福井県立大学つぐみ賞』受賞者

学術研究や課外活動等で活躍した学生・団体を表彰する「つぐみ賞」受賞者の皆さんです。

生物資源学研究科 生物資源学専攻
博士後期課程2年

田中 智也さん

令和7年3月11～13日に東京大学で開催された日本農業学会第50回大会において口頭発表を行い、学生優秀発表賞を受賞しました。演題は「ヒートショック処理によるNPR1非依存的な病害抵抗性シグナルの制御機構」です。



海洋生物資源学部 先端増殖殖科学科2年

神谷 春香さん、新井 日向子さん、清水 怜さん、
石原 優月さん、秋月 莉音さん、福田 佳帆さん

海洋生物資源学部 海洋生物資源学科2年

小川 誠葉さん、別保 尚さん、山田 花音さん



海洋生物資源学部有志メンバー9名がショッピングモールエルバ駐車場に除雪の雪山を利用して恐竜の雪像を作りました。学生手作りの恐竜モニュメントが買い物客にも好評を博し、県大生らしい地域貢献活動を展開しました。

生物資源学部 生物資源学科2年

伊部 成美さん

華道家元池坊が主催する第27回学校華道インターネット花展において、応募数5,289作品の中から入賞28作品のひとつに選ばれました。作品テーマ「前進」で受賞した京都府知事賞は、最優秀賞に次ぐ優秀賞の一つです。



生物資源学部 生物資源学科3年

高崎 仁美さん

東京大学主催の開発コンペティション「100program」において、バーチャル空間に保存公開できるアプリを構築し、団体として「優秀VR・AR賞」を受賞しました。このプログラムは全国から開発の意欲・知識を持つ参加者が集まりチームを組んで、2か月間でハードウェア・ソフトウェア開発に取り組むものです。



経済学部 経営学科3年

山田 彩楓さん

越美北線と大野市を盛り上げる団体 ETSUMIにおいて活動し、大野駅のジオラマ模型製作、越美北線のクイズ冊子作成、イベントでのミニ北陸新幹線や恐竜ラッピング車両への乗車体験に継続して関わりました。その後も個人として「越美北線と乗合バスに乗る運動を進める会」という団体で、大野市民代表として活動に参加しています。



看護福祉学部 看護学科4年

南部 優来さん

5月4日に岐阜県大垣市で開催された、一般社団法人全日本かるた協会公認の「第十三回 奥の細道むすびの地 全国競技かるた大垣大会」において、最上位のA級クラスで3位に入賞しました。



生物資源学研究科 生物資源学専攻
博士前期課程1年

吉田 日向さん

6月14～15日に東北大学で開催された根研究学会の第61回根研究集会においてポスター発表を行い、優秀発表賞を受賞しました。演題は「湛水土壤中で増加するアンモニアはイネ根の酸素通気に影響するの?」です。



生物資源学研究科 生物資源学専攻
博士後期課程2年

小林 壮生さん

6月14～15日に福井商工会議所で開催された日本メンデル協会第2回大会において、優秀発表賞を受賞しました。演題は「倍数体ヒロハノマンテマを用いたX染色体の性決定能の解析」です。



おめでとうございます!

